



EMBROIDERY
STUDIO



クロスステッチ増補版



Copyright © 1998-2019 Wilcom International Pty Ltd. 全著作・版權所有。

お客様は Wilcom Pty Ltd の書面による事前の承認なしに、本マニュアル及び同封のソフトウェアの一部または全てを問わず、電子的、機械的、磁氣的、手動、またはその他いかなる方法での複製、情報検索システムへの配布、転送、複写、格納行為、いかなる言語やコンピューター言語への翻訳、第三者への公表を行うことはできません。

Wilcom Pty Ltd. (A.B.N. 43 001 971 919)
Level 3, 1-9 Glebe Point Rd, Glebe
Sydney, New South Wales, 2037, Australia
PO Box 1094, Broadway, NSW 2007
Phone: +61 2 9578 5100
Fax: +61 2 9578 5108
Web: <http://www.wilcom.com>

TrueView(TM) と Point & Stitch(TM) は Wilcom International Pty Ltd の登録商標です。この製品に含まれるイメージング機能の一部の著作権、版權は AccuSoft Corporation 社により所有されています。本製品に含まれる EPS ファイルフォーマットのインポート、エクスポートコンバーターの著作権、版權は Access Softtek Inc 社により所有されています。

Wilcom Pty Ltd は本出版物に関して、いかなる表明および保証をいたしません。特に商品性、特定目的への適合性、商業性の保証、侵害など（ただし必ずしもこれらに限定されない）明示または暗示を問わず一切の保証をいたしません。

更に Wilcom Pty Ltd はいかなる個人や機関にも通知する義務なしに、本出版物を改訂、変更する権利を有します。

本出版物内のスクリーンイメージは説明目的のものであり、ソフトウェア内で生成される正確なレイアウトの複製ではありません。ソフトウェアの特徴と機能を解説しているサンプルは、お使いのソフトウェアモデルまたは製品レベルの内容により必ずしも完全に一致するものではありません。デザインサンプルとして使用されているアートワークの中には、Digital Art Solutions により提供されているものもあります。

本マニュアルの付録のプロダクト機能一覧は、それぞれの製品レベルに関連する機能が表示されています。現リリースに対応するよう機能一覧の作成には細心の注意を払っていますが、間際の変更は反映されない場合があることをご了承ください。詳細は Wilcom 販売代理店までご連絡ください。

2018 Corel Corporation. All rights reserved.
Corel, CorelDRAW, the CorelDRAW balloon logo, the Corel logo, the Corel balloon logo, Corel CAPTURE, CONNECT, PHOTO-PAINT, PowerTRACE and Smart Carver are trademarks of Corel Corporation

and/or its subsidiaries in the United States and/or other countries. This product and packaging include intellectual property (including trademarks) owned, registered and/or licensed by/from respective third parties. Use of this product is subject to the acceptance of the license agreements included in this package. Protected by Patents in the United States and elsewhere. This product is provided under an enclosed license agreement that defines what you may do with this product and contains limitations on warranties and your remedies.

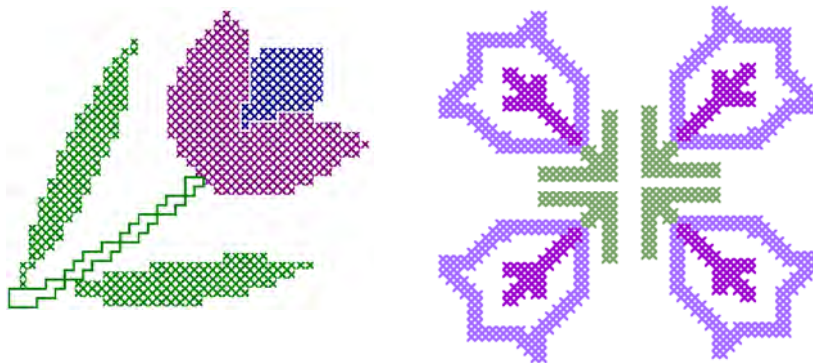
法律上除外が認められない場合を除き、本ソフトウェアは保証規定に規定されていない本ソフトウェアの動作、精密度、エラー、またその使用によって起こりうる結果に関して一切責任を負わないものとします。お客様は当ソフトウェアの購入に際し、当ソフトウェアの動作やもたらす結果等起こりうるリスクを想定した上で、ご自分の責任と判断により製品を選択したものとします。Wilcom Pty Ltd は、本ソフトウェアの一切の動作保証、使用するハードウェアとの互換性の保証、使用目的への適合性の保証、商業性の保証、使用結果に関わる的確性や信頼性の保証をせず、かついかなる内容の瑕疵担保義務も一切負いません。

第 1 章

ES クロスステッチのイントロダクション

クロスステッチは少ないステッチ数で大きな領域を埋め込む技術として人気があります。クロスステッチはアウトラインや縁取りにも使うことができ、テーブルクロスや子供服、フォークデザインに適しています。クロスステッチはアプリケと組み合わせられることもあります。

様々なステッチタイプや角度、効果を使用してデザインを強調するマシンによる刺繍とは異なり、クロスステッチでは色の陰影と大きさのみをデザインに追加できます。この理由から、クロスステッチのデザインでは、マシンによる刺繍よりも多くの色が使用されることが多くあります。



メモ Wilcom ES のほとんどのレベルで、ES クロスステッチは追加料金オプションとなります。クロスステッチを使用するには、ソフトウェアでクロスステッチオプションをアクティブにしなければなりません。適切なメニューでクロスステッチが見つからない場合、代理店に問い合わせせてアップグレードし、クロスステッチ機能を追加して下さい。

この章では、様々なクロスステッチタイプの概要が紹介されています。

クロスステッチのタイプ










クロスステッチは四角形、あるいはピクセルを基本に作成されます。端でも、対角でも、四角形のどの部分でもステッチできます。クロスステッチの全種類が以下に示されています。



フルクロス



十字クロス

	3/4 クロス		ダブルクロス
	ハーフクロス		縦長クロス
	1/4 クロス		横長クロス
	ミニクロス		シングルライン
	フレンチノット		

クロスステッチの埋め込み



注意 クロスステッチを埋め込みとして使用する時は、クロスステッチ埋め込みタイプからどのタイプでも選択できます。

フルクロスステッチ

フルクロスステッチは2本の長さの等しいステッチから成り、真中で交差してXを形成します。全体の効果はXのどのステッチが上に来るか、あるいは下に来るかによります。ステッチを組み合わせることで特殊効果を作成できます。

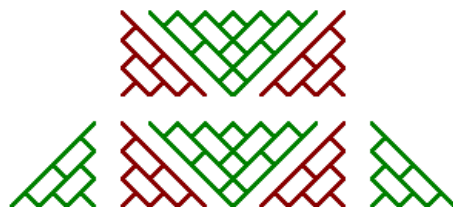


3/4 クロスステッチ

3/4 ステッチは、多くの場合、ハーフステッチが後に続く1/4 ステッチによって作成されます。ハーフステッチを最初に行い、それを1/4 ステッチで固定すると別の効果が作成できます。

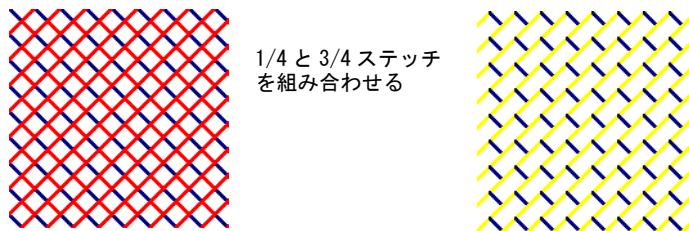


メモ 3/4 ステッチの長い部分は「/」、または「\」のどちらの方向にもできます。



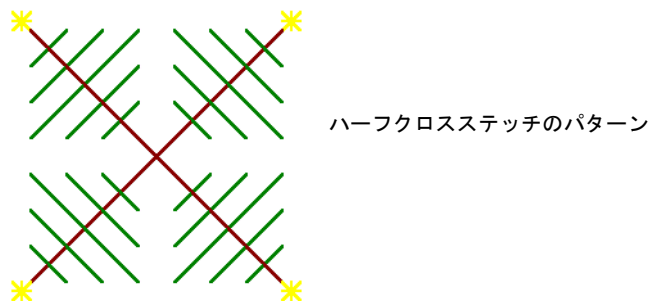
3/4 クロスステッチパターン

異なる色の1/4ステッチと3/4ステッチを1つの正方形の中納めることがよくあります。これらの位置を変更することで異なる効果が得られます。



ハーフクロスステッチ

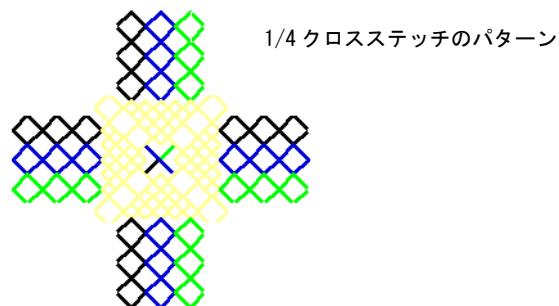
ハーフステッチはシンプルな斜めのステッチで「/」、または「\」のようになります。ハーフステッチは通常、影や背景の陰影に使用されます。ステッチはどのコーナーからでも開始できます。異なる色のハーフステッチを2つ使用して1つのクロスステッチを作成することもできます。



ハーフステッチは作成したい効果によってどちらの方向にもできます。例えば、ハーフクロスステッチで羽を表現するには、羽自体の方向に傾斜させます。

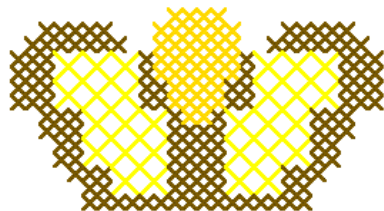
1/4 クロスステッチ

1/4ステッチはより込み入ったパターンをステッチするのに使用されます。



ミニクロスステッチ

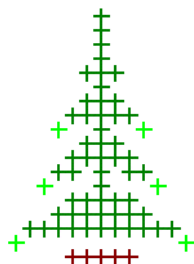
ミニクロスステッチは2本の長さの等しいステッチから成り、真中で交差してXを形成しますが、正方形の1/4のみを埋め込みます。ミニクロスステッチは目などの詳細部分、あるいはデザインでステッチを密にさせたい部分に使用します。



ミニクロスステッチのパターン

十字クロスステッチ

十字クロスステッチは水平と垂直なステッチで構成されます。



十字クロスステッチのパターン

ステッチは下地に対して斜めや水平に施したり、垂直なラインにすることもできます。

ダブルクロスステッチ

ダブルクロスステッチは、互いに重なり合って90度の角度で縫われる、2つのフルクロスステッチから成ります。ダブルクロスステッチは星型のようになります。これは一般的に散らばったデザインに、あるいは装飾的な縁取りを形成するのに使用されます。

多くの場合は、重なるクロスの上糸が垂直なステッチである一方で、下側のクロスの上糸は、水平なラインから135度の角度で縫われます。



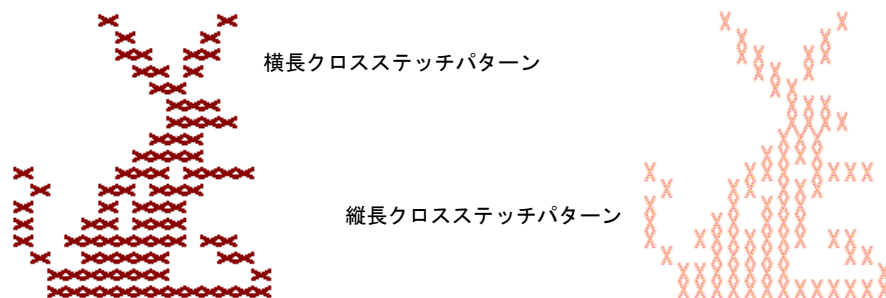
ダブルクロスステッチのパターン

縦長 / 横長クロスステッチ

縦長 / 横長クロスステッチは2本の長さの等しいステッチから成り、真中で交差してXを形成します。これには2種類あります。

- ◀ 横長クロスステッチ
- ◀ 縦長クロスステッチ

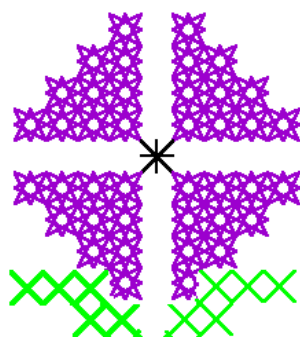
横長クロスステッチは通常のクロスステッチの半分の高さで、縦長クロスステッチは通常のクロスステッチの半分の幅となります。



フレンチノット

フレンチノットは元々ヨーロッパで浮き出たような装飾効果を出すのに使用された手刺繍でした。これは伝統的に非常に高級な綿やシルクの糸を使った「ホワイトワーク（白のみで作業）」に使用されていました。フレンチ・ノットはその他のクロスステッチタイプと組み合わせて使用できます。

フレンチノットを目、ドアノブ、花の雌しべに使用したり、クリスマスツリーの飾りや文字の点（例：i）など手作業でビーズを配置したい所に使用します。また、アウトラインの縁取りとして使用します。カラフルなメタリック系の糸や色に変化のある糸を使ってみるのもいいでしょう。フレンチ・ノットは大き目のグリッドで縫う方が適しています。



フレンチノットでステッチされた花びら



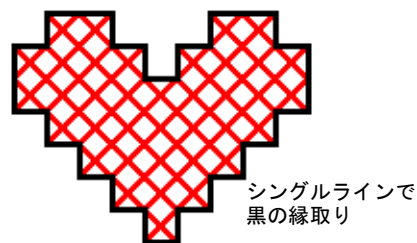
クロスステッチの縁取り

クロスステッチは刺繍のアウトラインとして使用できます。また、クロスステッチとその他のステッチタイプを組み合わせると特殊な効果を作成できます。

アウトラインを「シングルライン」、または「フルクロス」ステッチで作成できます。あるいはこの2つを組み合わせると目の詰まった縁取りを作成できます。「シングルライン」はソフトウェアではアウトラインとして扱われ、「フルクロス」は埋め込みとして扱われます。アウトラインを削除する必要がある場合はこれが重要となります。シングルラインは単一のオブジェクトとして削除できますが、フルクロスステッチのアウトラインは削除できません。

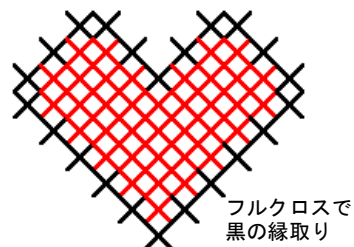
シングルラインの縁取り

シングルラインステッチは縁取りを作成するか、細部を追加するために使用されます。シングルラインは四角形のどのサイドにでも配置できます。ラインを配置したいサイドをクリックします。シングルラインを1辺にだけ、あるいは四角形の全ての辺に配置できます。シングルラインは既にクロスステッチが施されている四角形にも配置できます。



フルクロスの縁取り

フルクロスもまた装飾的な縁取りとして使用できます。フルクロスを縁取りとして使用する場合、埋め込みステッチタイプリストで選択されたものと同じクロスステッチタイプとなります。ステッチタイプの変更は埋め込みステッチタイプを変更することで行えます。



クロスステッチのバリエーション

部分的なクロスステッチの方向は変化させることができ、異なるパターン効果を作成できます。方向はピクセルごとに直接変化させることも、あるいは埋め込みステッチの方向を設定することによって変化させることもできます。また、様々な方法で部分的なクロスステッチを組み合わせることができます。クロスステッチのタイプも併せてご覧下さい。

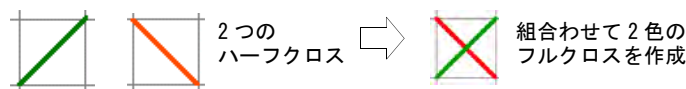
3/4 クロスステッチ

1/4 と 3/4 クロスステッチは滑らかな縁を作成するのに使用できます。クロスステッチの埋め込みも併せてご覧下さい。



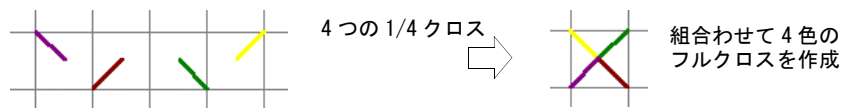
ハーフクロスステッチ

ハーフクロスステッチはオブジェクトにすっきりした感じを与えるのに使用します。また、ハーフクロスステッチを使用して2色のフルクロスステッチを作成できます。ステッチを組み合わせるも併せてご覧下さい。



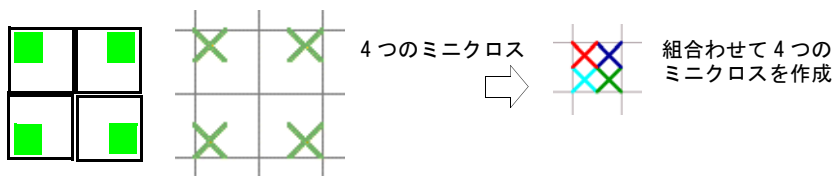
1/4 クロスステッチ

1/4 と 3/4 クロスステッチは縁を滑らかにするのに使用できます。また、1/4 クロスステッチを使用して最高4色で構成されるフルクロスステッチを作成できます。ステッチを組合わせるも併せてご覧下さい。



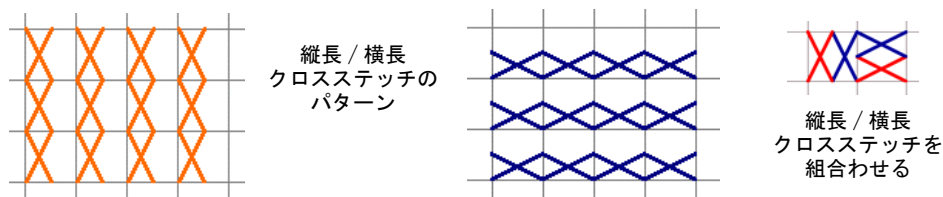
ミニクロスステッチ

ミニクロスステッチは目などの詳細部分、あるいはデザインでステッチを密にさせたい部分に使用します。



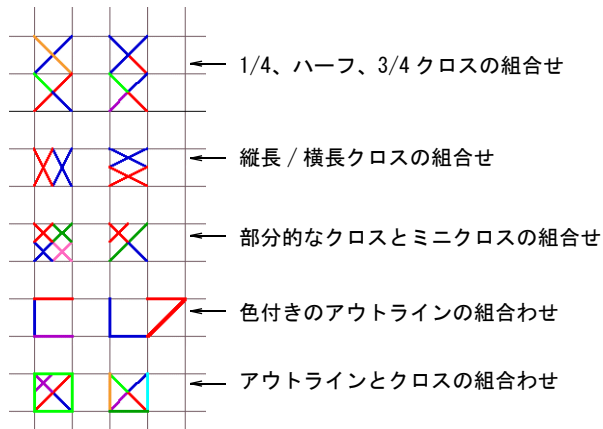
縦長 / 横長クロスステッチ

縦長 / 横長クロスステッチは2本の長さの等しいステッチから成り、真中で交差してXを形成します。これらは四角形の左側、右側、上側、あるいは下側を埋め込みます。



ステッチを組み合わせる

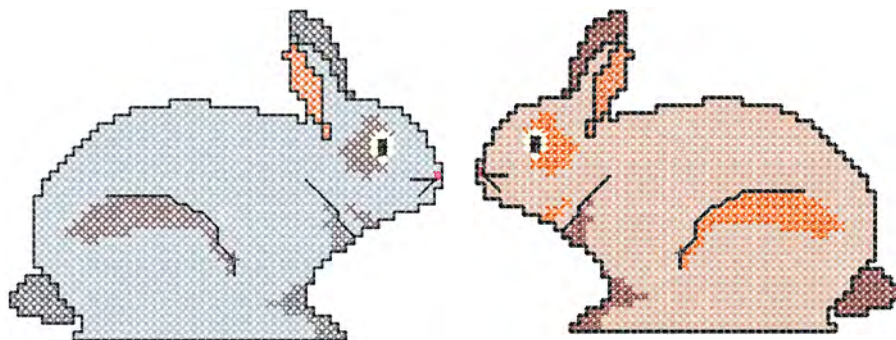
1/4、ハーフと3/4クロスステッチを組み合わせて複数色からなるクロスを作成できます。また、ミニクロス、縦長／横長クロス、またアウトラインを組み合わせることができます。



第 2 章

クロスステッチの基本

Wilcom EmbroideryStudio e4 では、デザイン全体または選択した部分にクロスステッチを追加できます。またクロスステッチを一つ一つ置いていくことができます。ステッチには「アウトライン」と「埋め込み」の 2 種類があります。アウトラインステッチは単一のランニング、またはクロスステッチのラインに使用できます。埋め込みは各タイプのクロスステッチに使用できます。ステッチタイプ、ステッチ長と各ステッチが縫われる回数を予め設定できます。



この章では、クロスステッチのデザインウィンドウの使用、クロスステッチのマニュアルによるデジタイズ技術、またクロスステッチのデザインファイルの取り扱いについて説明されています。

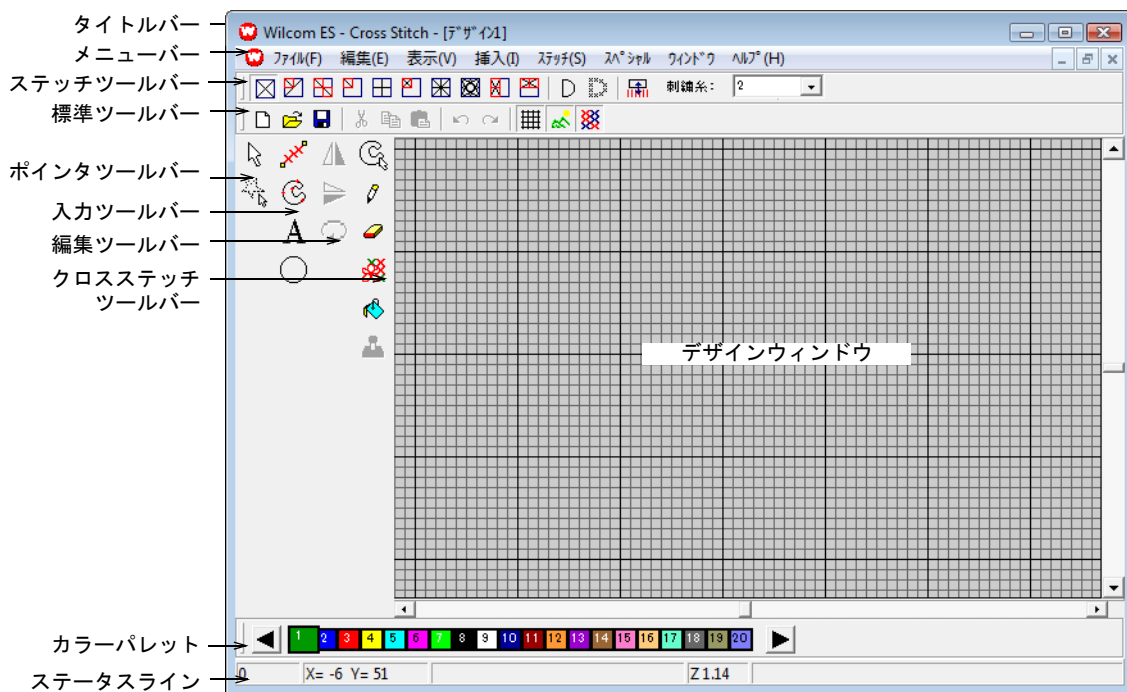
ES クロスステッチを開く

クロスステッチのデザインには通常の刺繍デザインとは異なるデジタイズ技術が必要となります。この理由から、クロスステッチには専用のデザインウィンドウがあり、EmbroideryStudio から開くことができます。

ES クロスステッチを開くには

- 1 EmbroideryStudio を起動します。
- 2 スペシャル > ES クロスステッチを選択します。

ES クロスステッチデザインウィンドウが開きます。



メモ クロスステッチツールバーには、デザインウィンドウの上にある標準とステッチツールバーが含まれます。ポインタ、入力、編集、またはクロスステッチツールバーはデザインウィンドウの左側にあります。デザインウィンドウ内で、ツールバーをクリックしてドラッグできます。移動したツールバーを元の位置に戻すには、タイトルの部分をダブルクリックします。

グリッドの設定を変更する



グリッド（標準ツールバー）をクリックし、グリッドの表示 / 非表示を切り替えます。
オプション（スペシャルツールバー）を選択し、グリッドの設定を変更します。

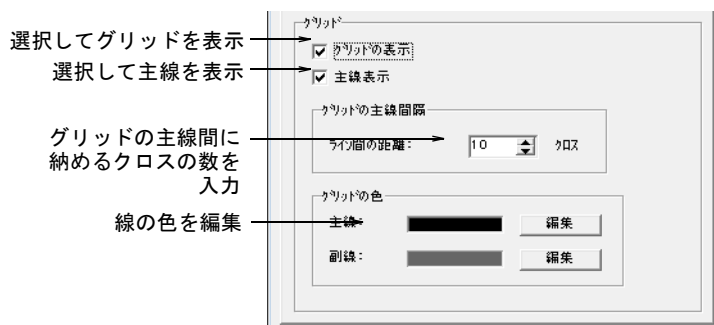
オプション>グリッドダイアログを使用して、グリッドの設定を変更します。

- ◀ グリッドの表示 / 非表示
- ◀ 主線表示（グリッドがオンの時）
- ◀ グリッド間隔の設定
- ◀ 主線と副線の色を変更

グリッドの設定を変更するには

- 1 スペシャル>オプションを選択します。

2 グリッドタブを選択します。



3 グリッドの表示チェックボックスを選択して、グリッドラインを表示します。

4 主線表示チェックボックスを選択して、グリッドの主線を表示します。

5 グリッドの主線間に納めるクロスの数を入力します。

6 編集をクリックして、主線と副線の色を変更します。



7 利用可能な色から選択するか、独自の色を定義します。

色の作成をクリックして、カラーパレットから独自の色を作成します。

8 OK をクリックします。

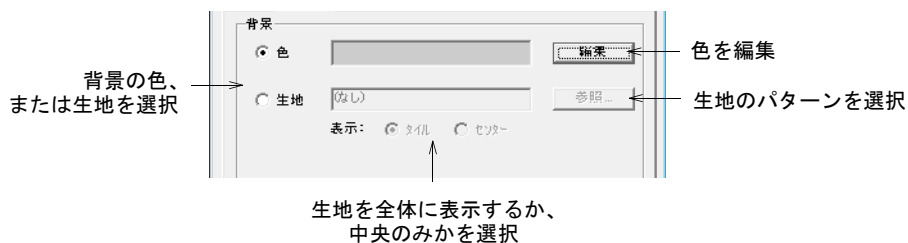
背景色と生地を変更する

ES クロスステッチでは、生地の色に類似した色にデザインウィンドウの背景を変更できます。あるいは、より実際の状態に近づけるために、背景に生地を選択することもできます。

背景の色と生地を変更するには

1 スペシャル>オプションを選択します。

2 背景タブを選択します。



3 デザインウィンドウの背景の種類を選択します。

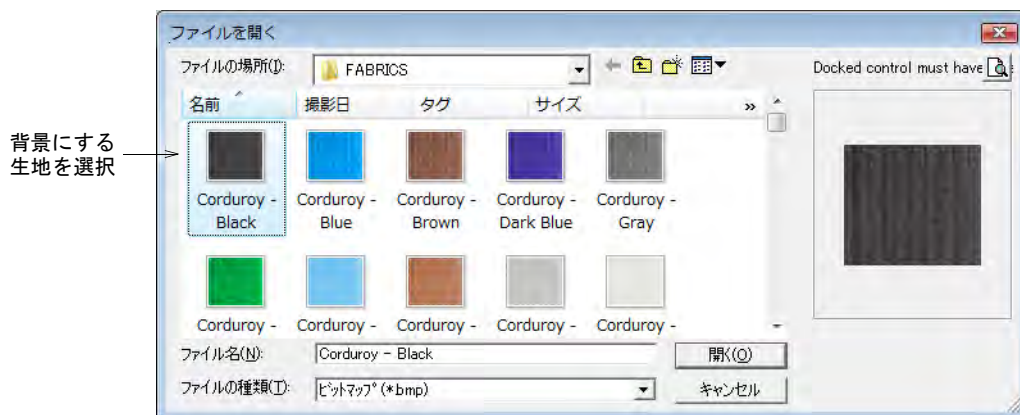
- ◀ 色：選択された色を使用します。
- ◀ 生地：生地イメージを使用。

4 使用する色、または生地を選択します。

- ◀ 背景の色を選択するには、編集をクリックします。色の設定ダイアログで色を選択し、OK をクリックします。



- ◀ 生地を選択するには、参照をクリックします。ファイルを開くダイアログで生地の種類を選択し、OK をクリックします。



デザインウィンドウで生地ビットマップを全体に、あるいは中央のみに表示できます。ビットマップがウィンドウ全体を埋めるのに十分な大きさであれば、「センター」を選択します。そうでない場合は、「タイル」を選択します。

5 OK をクリックします。

ステッチをクロス、またはタイルとして表示する



クロス（標準ツールバー）をクリックし、カラータイル、あるいはクロスステッチとしてステッチを表示します。

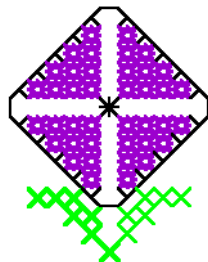
ES クロスステッチにはクロスとカラータイルの2つの表示モードがあります。タイルモードに変更すると、デザインウィンドウにビットマップを取り込んだ時と同じ結果が見られます。[ステッチを生成する](#)も併せてご覧ください。

ステッチをクロス、またはタイルとして表示するには

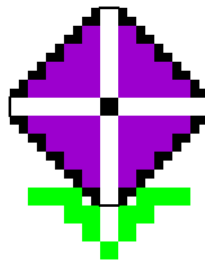
1 クロスアイコンをクリックします。

デジタル化された領域がクロス（あるいは、縁取りのライン）として表示されます。

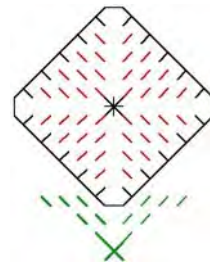
2 もう一度クリックすると色で塗りつぶされた正方形（タイル）としてステッチが表示されます。



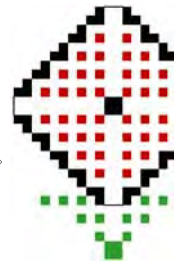
クロスで表示されたステッチ



カラータイルで表示されたステッチ



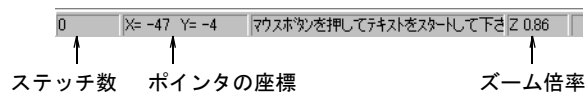
クロスで表示されたステッチ



カラータイルで表示されたステッチ

デザイン情報を表示する

Wilcom EmbroideryStudio e4 のステータスバーには、デザインのズーム倍率と共に、個々のステッチ情報やおおよそのステッチ数、また糸の使用に関する情報が表示されます。



デザインのサイズと糸間隔を設定する

ES クロスステッチでは、デザインのサイズは「クロスの大きさ」によってコントロールされます。例えば、インチ内のステッチが多いほど、仕上がりのデザインは小さくてステッチが詰まったものになります。また、クロスステッチを1回、2回、あるいは3回ステッチすることによって、ステッチの糸間隔を調整できます。

デザインサイズを設定する

「クロスの大きさ」を調整することによって、クロスステッチのデザインサイズを設定します。これによって、実際にデザインの仕上がりのサイズが変更されません。例えば、インチ内のステッチが多いほど、仕上がりのデザインは小さくてステッチが詰まったものになります。



注意 クロスステッチデザインの一般的な問題は、特にデザインが小さいほど、ステッチがぎっしりと詰まり、生地を引っ張り込むということです。クロスステッチのデザインはいつも同じ状態で生地を引っ張り、それが隙間となり直線を形成する傾向にあります。時にはステッチが抜けてるかのような印象を与える穴ができてしまうことがあります。[ステッチの糸間隔を設定する](#)も併せてご覧ください。

デザインサイズを設定するには

1 スペシャル>クロスの大きさを選択します。

クロスの大きさダイアログが表示されます。



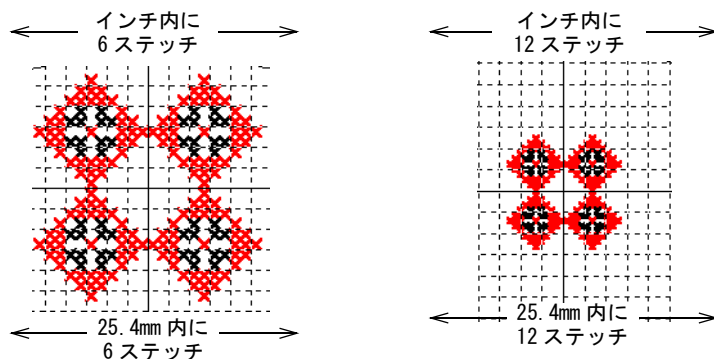
2 クロスの大きさオプションをインチかミリメートルで選択します。

- ❖ **インチ内のステッチ数**：この数値が小さいほど仕上がりのデザインは大きくなります。
- ❖ **ステッチ数ごとのミリメートル**：クロスステッチは1ミリメートル以上なので、ステッチ数とその大きさをミリメートルで、互いに関連させて設定できます。mmの数値が大きい、あるいはステッチの数値が小さいほど、デザインは大きくなります。



参考 アップデートをクリックすると、即座に変更した数値にデザインが更新されます。例えば、インチ内のステッチを変更しアップデートをクリックすると、それに対応してステッチ数ごとのミリメートルの数値が更新されます。

3 OK をクリックします。



ステッチの糸間隔を設定する

刺繍糸: 刺繍糸（ステッチツールバー）を使用し、ステッチの糸間隔を設定します。

クロスステッチを1回、2回、あるいは3回ステッチすることによって、ステッチの糸間隔を調整できます。この「クロスオーバー」の数は「刺繍糸」リストの2、4と6に対応します。この数値はいつでも変更が可能です。



メモ 刺繍枠内に収めようとデザインを小さくすると、ステッチが重なり合って生地を引っ張り込む可能性があります。埋め込みにもアウトラインにも、クロスオーバーの数をシングル（2糸）に減らすことでこの問題を解決できます。また、細めの刺繍糸を使用することもできます。

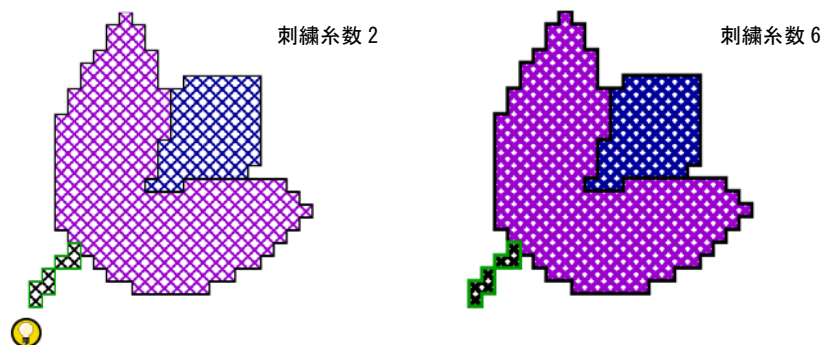


参考 全ての四角形にステッチが施されるデザインを作成する場合、仮縫いと生地に当て布をすることを忘れないで下さい。

ステッチの糸間隔を設定するには

- ◀ 刺繍糸ドロップダウンリストから数値を選択します。

数値 2 はシングルステッチ、4 はダブル、6 はトリプルとなります。ラインの太さにより、画面に反映されます。



参考 ステッチ上でマウスを移動させると、使用されているタイプと色がツールチップで表示されます。

クロスステッチタイプを選択する

Wilcom EmbroideryStudio e4 には、好きな色でアウトラインや埋め込みを作成するのに十分なクロスステッチタイプが備えられています。また、フラクショナルクロスステッチ（フルクロスではない）の方向をコントロールして、異なるパターン効果を作成できます。

ステッチの色を選択する



デジタイズの前にカラーパレットからステッチの色を選択するか、選択した部分に新規の色を適用できます。

ステッチの色を選択するには

- ◀ カラーパレットから色を選択して、新規にデジタイズする領域に適用します。ステッチは選択された色でデジタイズされます。
- ◀ ステッチを範囲で選択し、変更したい色を選択します。



ラインステッチタイプを選択する

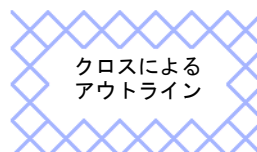
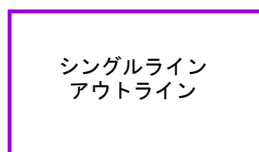
-  シングルライン（ステッチツールバー）を選択し、シングルラインを使用します。
-  フルクロス（ステッチツールバー）を選択し、クロスラインを使用します。

ラインステッチにはシングルラインとフルクロスの2種類があり、ステッチツールバーから選択できます。クロスステッチのタイプを選択してから、フルクロスアイコンをクリックします。

ラインステッチを選択するには

- ◀ ステッチツールバーから、シングルラインまたはフルクロスを選択します。

新規のステッチはシングルライン、またはクロスとしてデジタイズされます。フルクロスを使用する場合は、現在選択されているクロスステッチのタイプが適用されます。詳細は[埋め込みステッチタイプを選択する](#)をご覧ください。



メモ 選択したステッチタイプにより、ステッチの方向を設定できます。詳細は[クロスステッチの方向を設定する](#)をご覧ください。

埋め込みステッチタイプを選択する

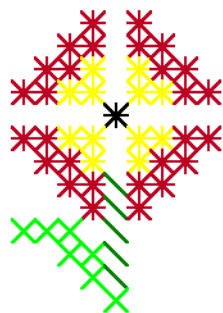
- 埋め込み（ステッチツールバー）を選択し、フルクロスを使用します。
- 3/4（ステッチツールバー）を選択し、3/4 クロスを使用します。
- ハーフ（ステッチツールバー）を選択し、ハーフクロスを使用します。
- 1/4（ステッチツールバー）を選択し、1/4 クロスを使用します。
- ミニクロス（ステッチツールバー）を選択し、ミニクロスを使用します。
- 垂直クロス（ステッチツールバー）を選択し、垂直クロスを使用します。
- ダブルクロス（ステッチツールバー）を選択し、ダブルクロスを使用します。
- フレンチ・ノット（ステッチツールバー）を選択し、フレンチ・ノットを使用します。
- 縦長クロス（ステッチツールバー）を選択し、縦長クロスを使用します。
- 横長クロス（ステッチツールバー）を選択し、横長クロスを使用します。

埋め込みステッチは全てクロスステッチとなります。フルクロス、3/4 クロス、ハーフクロス、1/4 クロス、ミニクロス、垂直クロス、ダブルクロス、縦長クロス、横長クロスからタイプを選択します。[クロスステッチの埋め込み](#)も併せてご覧下さい。

埋め込みステッチを選択するには

- ◀ ステッチツールバーから、クロスステッチタイプを選択します。

このステッチタイプで選択した、あるいは新規のステッチがデジタル化されます。



様々なクロスステッチによる埋め込み効果



メモ 選択したステッチタイプにより、ステッチの方向を設定できます。詳細は[クロスステッチの方向を設定する](#)をご覧ください。

クロスステッチの方向を設定する

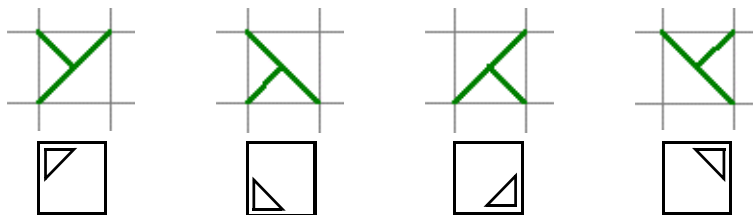
フラクショナルクロスステッチ（フルクロスではない）の方向をコントロールして、異なるパターン効果を作成できます。ステッチを個別にデジタル化する場合、ピクセルごとに直接方向付けをします。埋め込みをデジタル化する場合、「埋め込みスタイル」ダイアログを通してこれを行います。方法は同じです。[クロスステッチのタイプ](#)も併せてご覧下さい。



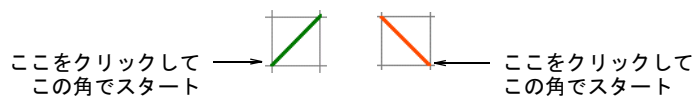
正方形を4つに割った1隅をクリック

クロスステッチの方向を設定するには

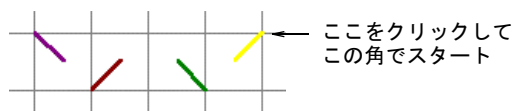
- 3/4 クロスステッチを作成するには、ステッチを施したい方向のコーナーをクリックします。



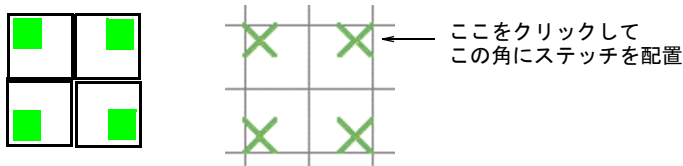
- ハーフクロスステッチを作成するには、ステッチを開始したい位置のコーナーをクリックします。



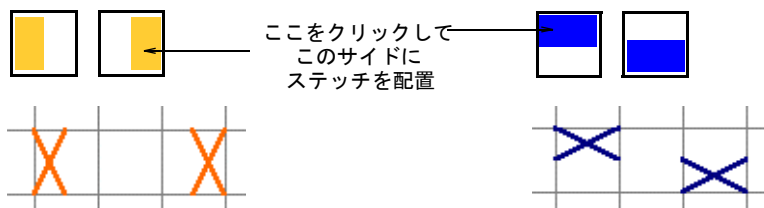
- 1/4 クロスステッチを作成するには、ステッチを開始したい位置のコーナーをクリックします。



- ミニクロスステッチを作成するには、ステッチを配置したい位置のコーナーをクリックします。



- 縦長クロスステッチを作成するには、ステッチを配置したいサイドをクリックします。



クロスステッチでデジタイズする

Wilcom EmbroideryStudio e4にはシングルステッチ、またはステッチのライン、埋め込み / 中抜き、または中抜きの閉じた形状を自由にデジタイズする技術が用意されています。また、自由な形状でアウトラインや縁取りも作成できます。「塗りつぶし」機能を使って、閉じた形状やカラーブロックをステッチで埋め込むことができます。

シングルステッチ、またはラインをデジタイズする



鉛筆（クロスステッチツールバー）を使用し、シングルステッチ、またはステッチのラインを描きます。

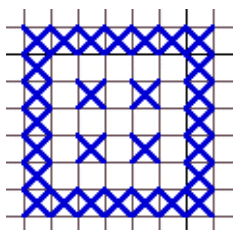
シングルステッチ、またはステッチのラインをデジタイズできます。選択したステッチタイプによっては、ステッチの方向を設定しなければなりません。[ステッチを組み合わせる](#)も併せてご覧ください。

シングルステッチ、またはステッチのラインをデジタイズするには

- 1 シングルライン、またはフルクロスアイコンをクリックします。
フルクロスを使用する場合は、現在選択されているクロスステッチのタイプが適用されます。[埋め込みステッチタイプを選択する](#)も併せてご覧ください。
- 2 カラーパレットから色を選択します。詳細は[ステッチの色を選択する](#)をご覧ください。
- 3 鉛筆アイコンをクリックします。
- 4 単一のステッチを作成するには四角形をクリックし、ラインを作成するには鉛筆をクリックしてドラッグします。



メモ Ctrl を押してドラッグすると、垂直な直線が描けます。




シングルステッチと
アウトライン



参考 鉛筆ツールを使用して、クロスの部分を組み合わせ、複数色から成るクロスを作成することもできます。詳細は[ステッチを組み合わせる](#)をご覧ください。

サークルをデジタイズする

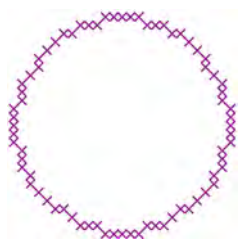
 サークル（入力ツールバー）を使用し、円 / 楕円をデジタイズします。

サークルツールを使用し、中が埋め込まれたサークルや、中抜きサークルを素早く作成できます。

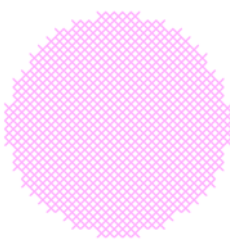
サークルをデジタイズするには

- 1 サークルアイコンをクリックします。
- 2 カラーパレットから色を選択します。詳細は[ステッチの色を選択する](#)をご覧ください。
- 3 アウトライン、または埋め込みステッチタイプを選択します。詳細は[クロスステッチタイプを選択する](#)をご覧ください。
- 4 センターポイントをマークし、円周上のポイントをマークします。
 - ◀ 完璧な円を作成する場合は、**Enter** を押します。
 - ◀ 楕円を作成する場合は、3つ目の基準点をマークします。

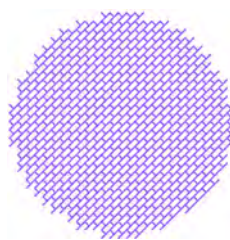
選択したステッチタイプにより、円、または楕円は埋め込まれるか、縁取られます。



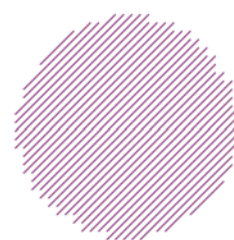
フルクロスの縁取り



フルクロスの埋め込み





3/4 クロスの埋め込み



ハーフクロスの埋め込み

開いた / 閉じた形状をデジタイズする

 クロスステッチ・ランニング（入力ツールバー）を使用し、開いた形状をデジタイズします。

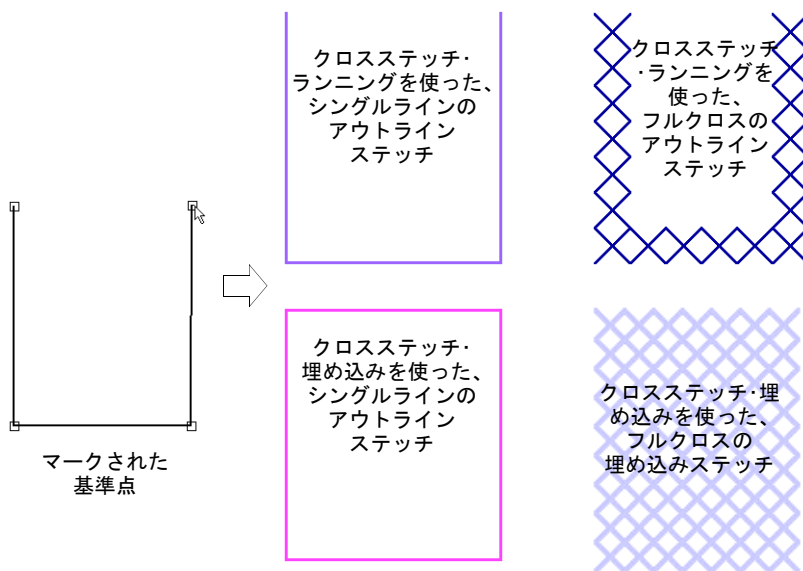
 クロスステッチ・埋め込み（入力ツールバー）を使用し、閉じた形状をデジタイズします。

クロスステッチ・ランニングアイコンを使用し、任意の形状のアウトラインを作成できます。クロスステッチ・埋め込みアイコンを使用し、任意の形状の埋め込みを作成できます。中をステッチで埋め込まない形状にはアウトラインステッチを、埋め込む形状には埋め込みステッチを選択します。

開いた、閉じた形状をデジタイズするには

- 1 クロスステッチ・埋め込み、またはクロスステッチ・ランニングアイコンをクリックします。
- 2 カラーパレットから色を選択します。詳細は[ステッチの色を選択する](#)をご覧ください。
- 3 アウトライン、または埋め込みステッチタイプを選択します。詳細は[クロスステッチタイプを選択する](#)をご覧ください。
- 4 デザインで基準点をマークします。
尖ったコーナーには左クリックを、丸いコーナーには右クリックを使用します。
- 5 Enter を押します。

選択したステッチタイプにより、形状は埋め込まれるか、または縁取られます。



カラーブロックを塗りつぶす



塗りつぶし（クロスステッチツールバー）を使用し、閉じた形状を埋め込むか、カラーブロックをステッチで埋め込みます。

塗りつぶしを使用して、色の付いた領域をステッチで埋め込みます。またこのツールで、フルクロスアウトラインの色とステッチタイプを変更することもできます。



メモ 塗りつぶしツールはクロスステッチにのみ適用されます。塗りつぶしは下絵に使用するビットマップイメージとは使用できません。下絵を自動的にデジタル化するも併せてご覧下さい。

カラーブロックを塗りつぶすには

- 1 カラーパレットから色を選択します。詳細は[ステッチの色を選択する](#)をご覧ください。
- 2 埋め込みステッチタイプを選択します。詳細は[埋め込みステッチタイプを選択する](#)をご覧ください。
- 3 塗りつぶしアイコンをクリックします。
- 4 閉じた形状の内側をクリックします。

形状は選択したステッチタイプと色で塗りつぶされます。



イメージをオートステッチを使って
デジタル化

「塗りつぶし」を使って変更された色



注意 塗りつぶしはシングルラインのアウトラインとは使用できません。角張ったサイドのある形状では、形状が正しく埋め込まれない場合があります。

クロスステッチのデザインファイルを取り扱う

クロスステッチのデザインには、EMX ファイルという独自のフォーマットがあります。これは、EmbroideryStudio によって、読み込みが可能です。また、EMX その他のフォーマットのデザインと組み合わせることもできます。

ステッチを生成する



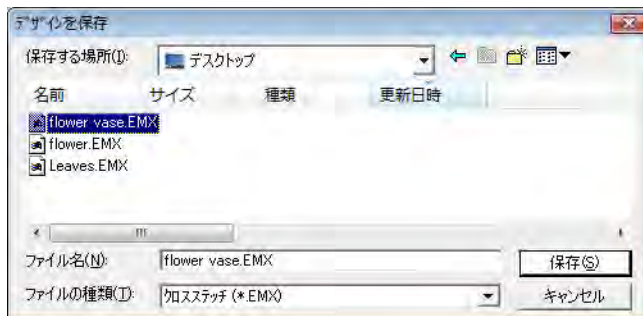
ステッチ生成（ステッチツールバー）を選択し、クロスからステッチを生成します。

デジタイズ時に画面上に表示されているデザインは、実際にはデザインの「絵」です。クロスでボックスに色を付けていくので、デジタイズする量はそれほど多くはありません。ですから、画面上のクロスを実際のステッチにするためにデザインを「生成」します。ステッチをクロス、またはタイルとして表示するも併せてご覧ください。

ステッチを生成するには

- ◀ ステッチ生成アイコンをクリックします。

ステッチが生成され、デザインが EMX ファイルとして保存されます。デザインを保存するのが初めての場合、ファイルに名前を付けるように促されます。



メモ デザインは EMX としてのみ保存できます。

クロスステッチデザインを保存する



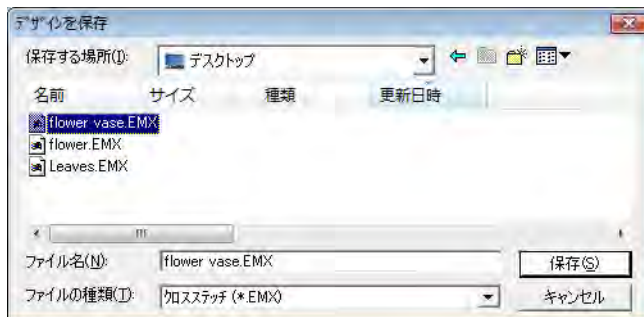
保存（標準ツールバー）をクリックし、クロスステッチのファイルを保存します。

デザインは早めに頻繁に保存します。クロスステッチファイルの保存には、拡張子に EMX を使用します。

クロスステッチデザインを保存するには

- 1 ファイル > 保存を選択します。

デザインを初めて保存する場合、名前を付けて保存ダイアログが表示されます。ファイルは EMX ファイルとして保存されます。



- 2 デザインの新規名をタイプし、保存をクリックします。

EmbroideryStudio でクロスステッチを使用する

EmbroideryStudio のデザインにクロスステッチを含むには、クロスステッチのデザインを EMX として保存し、それを EmbroideryStudio で開きます。



参考 クロスステッチプログラムでは TrueView でクロスステッチのデザインを表示できません。しかし、デザインを保存し、EmbroideryStudio で開くと、このモードで表示できます。

EmbroideryStudio でクロスステッチを使用するには

- 1 EMX にデザインを保存します。
- 2 EmbroideryStudio を開きます。
- 3 ファイル > 開くを選択します。
ファイルを開くダイアログが表示されます。



- 4 ファイルの種類リストから EMX ファイルを選択します。
- 5 ファイルを選択します。

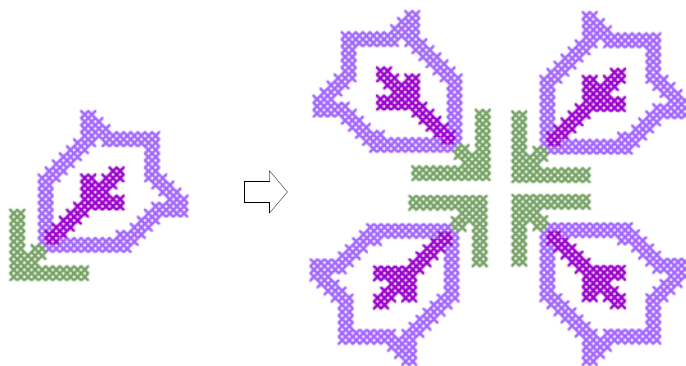
6 開くをクリックします。



第 3 章

クロスステッチの編集

ES クロスステッチでは、ステッチのブロックの移動や回転、反転を含む、クロスステッチデザインの編集を行うためのツールが備えられています。選択した領域の色やステッチタイプを変更できるのと同様に、ステッチを消去することもできます。選択を「スタンプ」として繰り返し使うことができ、モチーフや特殊なステッチの組み合わせで大きな領域を埋め込みます。また、ステッチを編集して、部分的なクロスを組み合わせ、複数色のクロスを作成することもできます。



この章では、クロスステッチの編集機能について説明されています。

ステッチを選択し、ロックする

デザインの領域を編集するには、最初にその部分を選択しなければなりません。ES クロスステッチには、クロスステッチを選択するための様々な方法が備えられています。不必要に移動させてしまったり、編集してしまうことのないようにクロスステッチやアウトラインをロックすることもできます。

選択、または囲み選択を使用してステッチを選択する



選択（ポインタツールバー）を使用し、シングルステッチ、またはステッチのブロックを選択します。

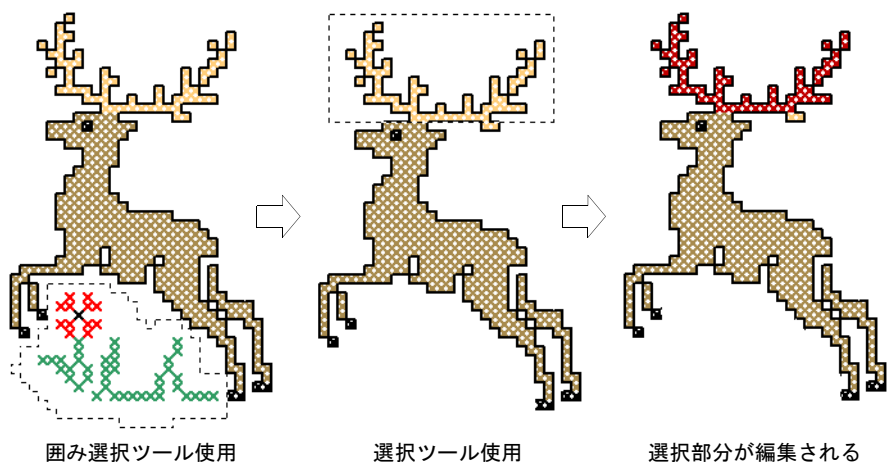


囲み選択（ポインタツールバー）を使用し、不規則な部分や形状を選択します。

選択と囲み選択ツールは、EmbroideryStudio での機能の仕方と類似しています。両者の違いは、ES クロスステッチでは、デザインのオブジェクトではなくステッチのブロックや領域で作業するということです。

選択、囲み選択で、クロスステッチを選択するには

- ◀ 選択ツールが選択されている場合、選択したい部分の周りに囲みボックスをドラッグします。
- ◀ 囲み選択ツールが選択されている場合、選択した部分の周りに基準点をマークし、Enter を押します。



参考 複数の領域を選択するには Ctrl を押します。

自動選択でステッチを選択する



自動選択（クロスステッチツールバー）を使用し、単色のブロック、またはデジタイズされていない部分を選択します。

自動選択は ES クロスステッチ特有の機能です。このツールを使用して、単一のカラーブロックやデジタイズされていないアウトラインで囲まれた部分を選択できます。隣接する同色のステッチのみが選択されます。

自動選択を使用してクロスステッチを選択するには

- 1 自動選択アイコンをクリックします。
- 2 ステッチのブロックをクリックします。
その色で隣接するステッチのみが選択されます。



参考 複数のブロックを選択するには Ctrl を押します。



参考 パレットから色を選択して、選択部分の色を変更できます。

ステッチをロックする

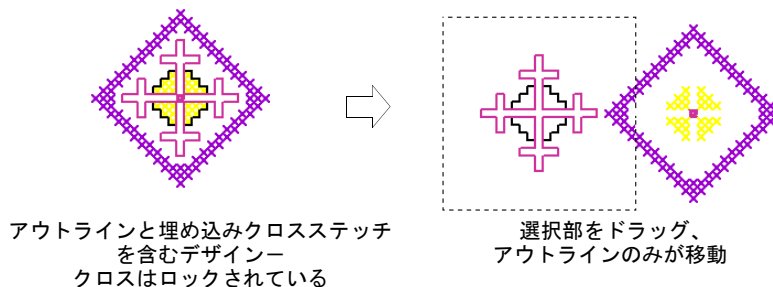
不必要に移動させてしまったり、編集してしまうことのないようにクロスステッチやアウトラインをロックします。

ステッチをロックするには

- 1 編集>クロス、または編集>アウトラインを選択します。

メニューでクロスがチェックされている時は、クロスステッチを移動できます。同様にアウトラインがチェックされている時には、アウトラインを移動できます。

- 2 ステッチを移動するには領域を選択し、それをドラッグします。






- 3 クロスまたはアウトラインを再度選択し、チェックマークを取り除き、全てのクロスまたはアウトラインをロックします。

単一のステッチの編集

ES クロスステッチでは、選択したステッチのブロックの色やステッチタイプを好きな時に変更できます。ステッチをいつでも取り除くことができます。

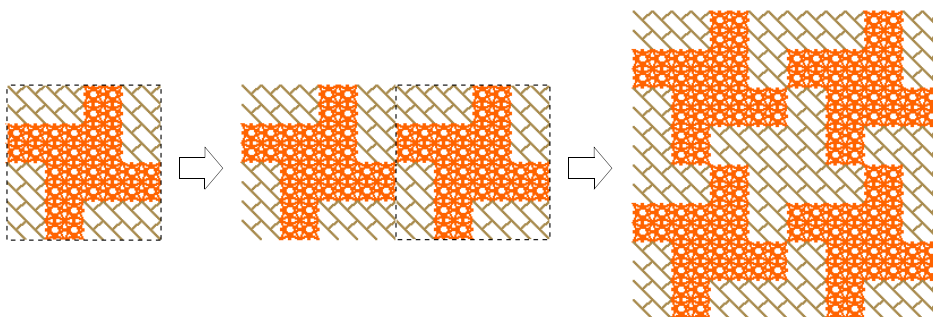
ステッチブロックのコピー、切り取り、貼り付け

-  コピー（標準ツールバー）を使用し、選択したステッチブロックをクリップボードにコピーします。
-  切り取り（標準ツールバー）を使用し、選択したステッチブロックをクリップボードに切り取ります。
-  貼り付け（標準ツールバー）を使用し、コピーしたステッチブロックをクリップボードから貼り付けます。

選択したステッチブロックを好きな時に、コピー、切り取り、貼り付けできます。ES クロスステッチでは、デザインのオブジェクトではなくステッチのブロックや領域で作業します。[スタンプの埋め込み](#)も併せてご覧ください。


ステッチブロックをコピー、切り取り、貼り付けするには

- 1 コピー、または切り取りたいステッチブロックを選択します。詳細は[ステッチを選択し、ロックする](#)をご覧ください。
- 2 コピー、または切り取りアイコンをクリックします。
選択した領域がクリップボードにコピーされます。
- 3 貼り付けアイコンをクリックします。
複製した部分は、選択した部分の上に重ねて貼り付けされます。
- 4 貼り付けしたステッチのブロックを移動するには、それをクリックしてドラッグします。



参考 パターンを作成するには、ステッチのブロックを複製して、それを回転します。詳細は[ステッチのブロックを変形する](#)をご覧ください。

ステッチブロックの設定を変更する

-  自動選択（編集ツールバー）を使用し、選択したステッチブロックの色やステッチタイプを変更します。

選択したステッチのブロックの色やステッチタイプを好きな時に変更できます。

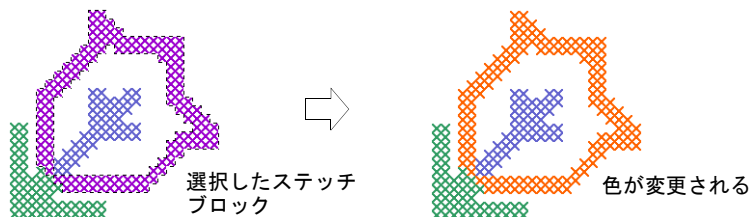
ステッチブロックの設定を変更するには

- 1 自動選択を使用して、ステッチのブロックを選択します。詳細は[自動選択でステッチを選択する](#)をご覧ください。

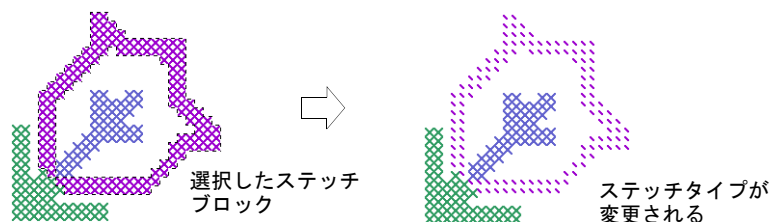


参考 複数のブロックを選択するには Ctrl を押します。

- 2 必要に応じて、色やステッチタイプを変更します。
 - ◀ パレットから新規の色を選択します。
その色で選択した領域が埋め込まれます。領域は選択されたままの状態です。



- ◀ ステッチツールバーから新規のステッチタイプを選択します。
そのステッチタイプで選択した領域が埋め込まれます。



- 3 Esc を押して、領域の選択を解除します。

埋め込みとシングルラインを消去する



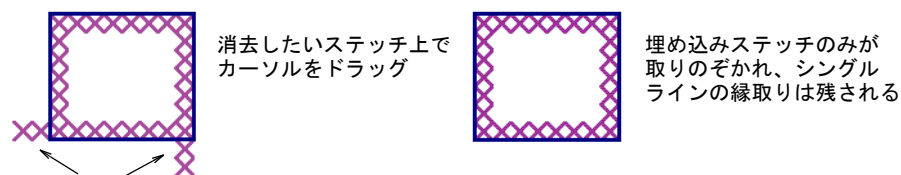
消しゴム（クロスステッチツールバー）を使用し、埋め込みとシングルラインを消去します。

「消しゴム」はステッチを取り除くのに使います。消しゴムは選択されたステッチタイプにより、埋め込みステッチ、またはシングルラインの縁を取り除きます。クロスステッチの縁取りは埋め込みステッチとして扱われます。

埋め込みとシングルラインを消去するには

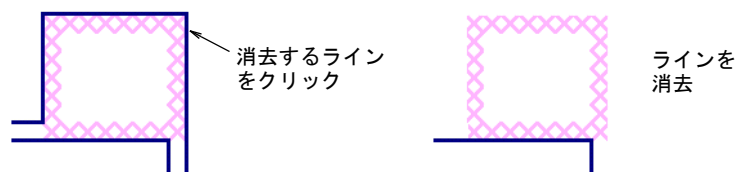
- 1 消しゴムアイコンをクリックします。
- 2 ステッチツールバーのフルクロスをクリックします。

- 3 取り除きたいステッチ上でカーソルをクリックしてドラッグします。
埋め込みステッチのみが取り除かれ、シングルラインの縁取りは残されます。



参考 また、ステッチを選択して Delete キーを押してもクロスステッチを消去できます。

- 4 ステッチツールバーのシングルラインをクリックします。
5 シングルライン上のどこかをクリックします。
ラインが取り除かれます。クロスステッチは残されます。



メモ シングルラインの縁取りは1度のクリックで取り除かれます。

ステッチのブロックを変形する

ES クロスステッチでは、選択したクロスステッチのブロックを様々に変形できます。それらを移動したり、右、または左回りで回転できます。また、クロスステッチのブロックを縦 / 横方向に反転することもできます。

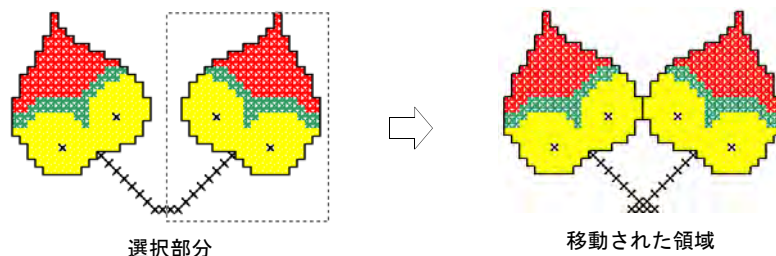
クロスステッチのブロックを移動する

クロスステッチのブロックを好きな時に移動できます。

クロスステッチのブロックを移動するには

- 1 移動したいステッチのブロックを選択します。詳細は[ステッチを選択し、ロックする](#)をご覧ください。

2 それを新しい位置にドラッグします。



クロスステッチのブロックを回転する

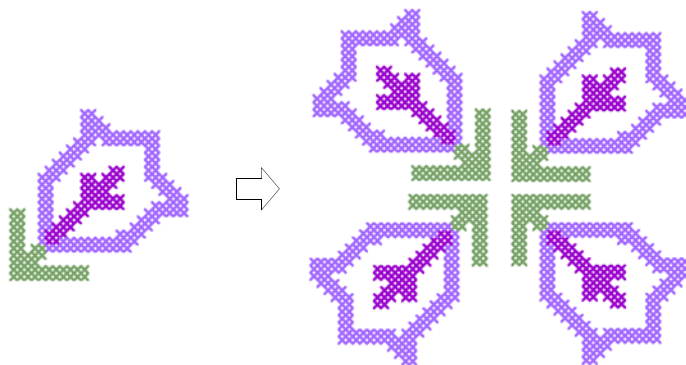


選択を回転（編集ツールバー）を使用し、選択したステッチを回転します。
クリックして右回りに回転します。右クリックして左回りに回転します。

クロスステッチのブロックを右、または左回りで回転できます。パターンを作成するには、ステッチのブロックを複製して、それを回転します。

クロスステッチのブロックを回転するには

- 1 回転したいステッチのブロックを選択します。詳細は[ステッチを選択し、ロックする](#)をご覧ください。
- 2 選択を回転アイコンをクリックします。



クロスステッチのブロックを反転する



選択を横方向に反転（編集ツールバー）をクリックし、選択したステッチを横方向に反転します。



選択を縦方向に反転（編集ツールバー）をクリックし、選択したステッチを縦方向に反転します。

クロスステッチのブロックを縦 / 横方向に反転することもできます。

クロスステッチのブロックを反転するには

- 1 反転したいステッチのブロックを選択します。詳細は[ステッチを選択し、ロックする](#)をご覧ください。
- 2 選択を横方向に反転アイコンをクリックします。



編集の特殊技術

ES クロスステッチには、クロスステッチのデジタイズに特に役に立つ多数の編集技術が備えられています。選択を「スタンプ」として繰り返し使うこともでき、モチーフや特殊なステッチの組み合わせで大きな領域を埋め込むことができます。様々な方法で部分的なクロスを組み合わせることができます。また、クロスステッチの縁取りやシングルラインの縁取りをデザインの領域に追加できます。

スタンプの埋め込み

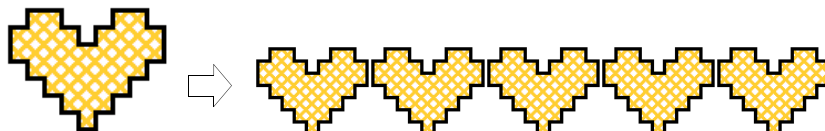


スタンプ（クロスステッチツールバー）を使用し、選択を「スタンプ」として繰り返し使用します。

選択を「スタンプ」として繰り返し使用し、モチーフや特殊なステッチの組み合わせで大きな部分を埋め込むことができます。

スタンプの埋め込みを作成するには

- 1 選択アイコンをクリックして、スタンプにしたい部分を選択します。
- 2 スタンプアイコンをクリックします。
選択範囲がコピーされ、ポインタの先に付いて現れます。
- 3 必要な回数だけクリックしてスタンプを配置していきます。



作成されたモチーフ

スタンプを使用して縁取りを作成

- 4 Esc を押すか、別のアイコンを選択して、スタンプをオフにします。

ステッチを組み合わせる



鉛筆（クロスステッチツールバー）を使用し、ステッチの組み合わせを追加します。

1/4、ハーフと3/4 クロスステッチを組み合わせて、複数色からなるクロスを作成できます。ミニクロス、縦長 / 横長クロス、またアウトラインステッチを組み合わせたことができます。クロスステッチのバリエーションも併せてご覧ください。

ステッチを組み合わせるには

1 編集 > 挿入を選択します。

挿入がメニューでチェックされます。挿入がチェックされた状態では、1つの四角形に1つ以上のステッチを追加できます。チェックされていない場合は、新規のステッチで既存のステッチが置き換えられます。



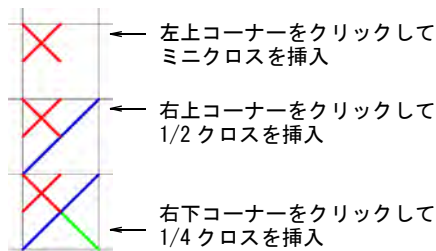
参考 挿入が選択されている場合、ステータスバーに挿入と表示されます。選択されていない場合は、上書きと表示されます。

2 ステッチタイプを選択します。詳細は[埋め込みステッチタイプを選択する](#)をご覧ください。

3 カラーパレットから色を選択します。詳細は[ステッチの色を選択する](#)をご覧ください。

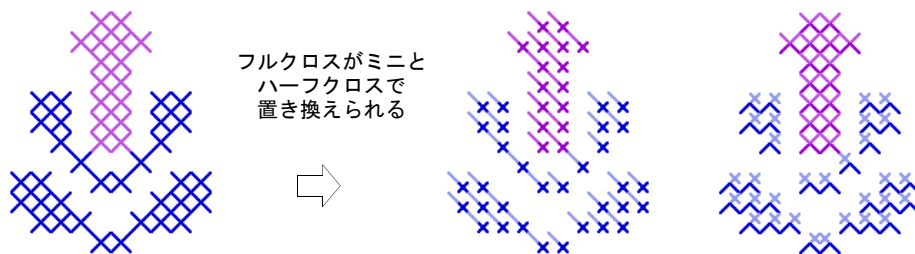
4 鉛筆アイコンをクリックします。

5 ステッチを挿入したい地点をクリックします。



メモ 挿入を選択していない場合、ステッチ全体が置き換えられます。

6 必要なだけ繰り返します。



選択部分に縁取りを追加する

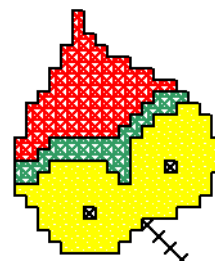
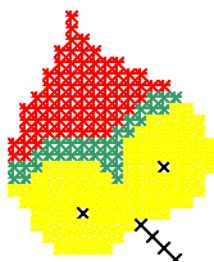
クロスステッチの縁取りやシングルラインの縁取り、またはその両方をデザインの選択部分に追加できます。

選択部分に縁取りを追加するには

- 1 シングルライン、またはフルクロスアイコンを選択します。
- 2 塗りつぶしをクリックして、領域の内側をクリックします。
選択部分の周りにアウトラインステッチが追加されます。



参考 最初のラインの内側に別のステッチラインを追加するには選択の内側を再度クリックします。



参考 クロスステッチをラインの縁取りと組み合わせるには、フルクロスステッチタイプと塗りつぶしを選択し、その後シングルラインと塗りつぶしを再び選択します。

刺繍糸を調整する

ES クロスステッチでは、既存のデザインの糸色を変更できます。デザインに必要な色により近付けるために、独自の色を作成することもできます。



注意 市販の糸チャートの表示はおおよそのものであり、コンピュータシミュレーションがその糸色に正確に一致するものではありません。

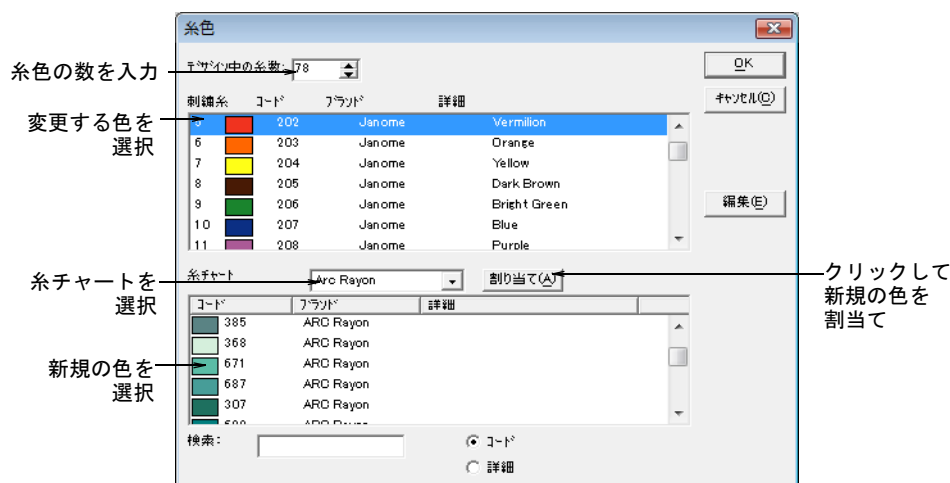
刺繍糸の色を変更する

ES クロスステッチではデザインの糸チャートを使用して、デザインの色を割り当てることができます。予め定義されている糸チャートから色を選択することも、独自に色を作成することもできます。

刺繍糸の色を変更するには

1 編集 > カラーウェイを選択します。

糸色ダイアログが表示されます。



2 デザイン中の糸数フィールドで、使用したい色の合計数を入力します。



参考 カラーパレットに含まれる色は 128 色までです。解像度が 800x600 の場合の合計数は 36 が最も適しています。

3 糸チャートリストから糸チャートを選択します。

4 上側のパネルで、変更する糸色を選択します。



参考 独自の色を作成するには、編集ボタンを使用します。詳細は[刺繍糸の色を編集する](#)をご覧ください。

5 下側のパネルで新規の糸色を選択し、割当てをクリックします。



参考 必要な色を検索するには、検索フィールドを使用します。詳細は[刺繍糸を検索する](#)をご覧ください。

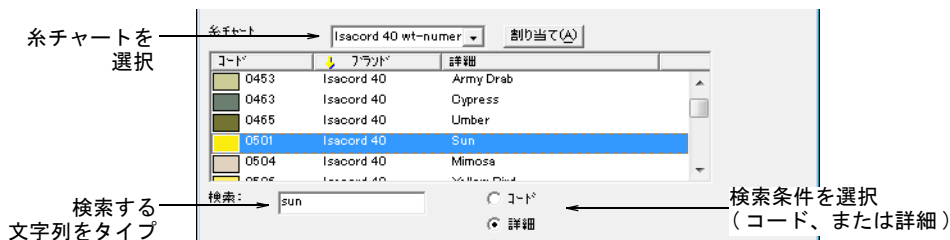
刺繍糸を検索する

糸色ダイアログで、コード、または詳細によって刺繍糸を検索できます。

刺繍糸を検索するには

- 1 編集 > カラーウェイを選択します。

糸色ダイアログが表示されます。



- 2 糸チャートリストからチャートを選択します。

- 3 検索するコード、または詳細を選択します。



メモ コードはブランドでの糸色の識別番号です。

- 4 検索フィールドで、希望のコード、または詳細の最初の数文字をタイプします。

- 5 希望の色が見つかるまでスクロールします。

刺繍糸を確認し、チャートで最も近い色を選択します。

刺繍糸の色を編集する

糸チャートから新規の色を選択することなく、デザインで既存の色を編集できます。

糸色を編集するには

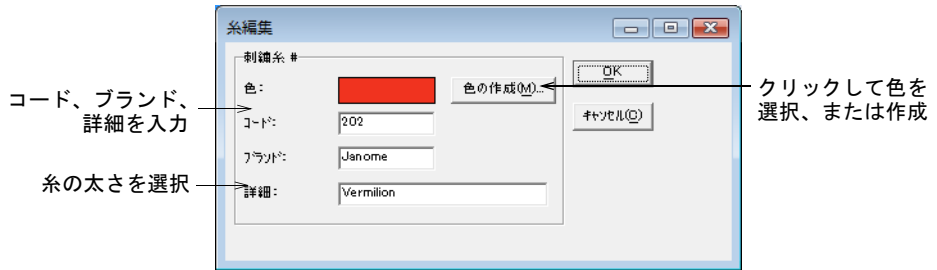
- 1 編集 > カラーウェイを選択します。

糸色ダイアログが表示されます。

- 2 上側のパネルで、編集する糸色を選択します。

- 3 編集をクリックします。

糸編集ダイアログが表示されます。



4 糸色のコード、ブランド、詳細を入力します。

コードはブランドでの糸色の識別番号です。

5 色の作成をクリックします。

色の設定ダイアログボックスが開かれます。



6 基本色から必要な糸に近い色を選択します。

7 右側にあるカラーパレット上のカーソルをクリックしてドラッグし、必要な色がプレビューパネルに表示されるまで色を変更します。

8 カラーパレットの右側にあるバーを移動させて、色の明るさを調整します。

HLS と RGB の値が色の設定ダイアログの右下に表示されています。これらの数値を直接タイプしても、色を設定することができます。

9 希望の色を作成したら、色の追加をクリックします。

10 OK をクリックします。

色のプレビューボックスに新規の色が表示されます。

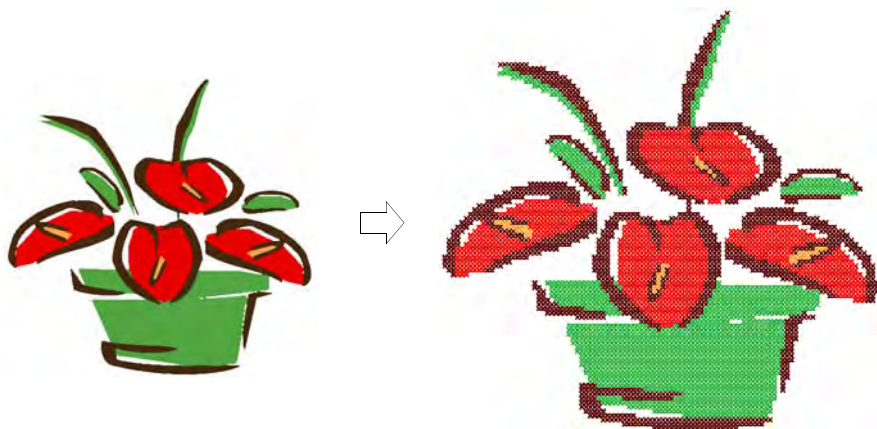
11 OK をクリックします。

刺繍糸リストに新規の色が表示されます。

第4章

クロスステッチの上級技術

Wilcom EmbroideryStudio e4 のデザインウィンドウに画像を取り込んで、それを下絵やオートデジタイズに使用できます。また、特殊なクロスステッチのレタリングを作成することもできます。



この章では、オートデジタイズとレタリングを含むクロスステッチの上級技術について説明されています。

下絵を使用してデジタイズする

ビットマップイメージを ES クロスステッチに挿入、貼り付け、またはスキャンして、デジタイズの下絵として使用できます。イメージをオートステッチを使用して、下絵のイメージを自動的にデジタイズできます。純色のビットマップを使用して、クロスステッチに適切なカラーブロックを作成します。

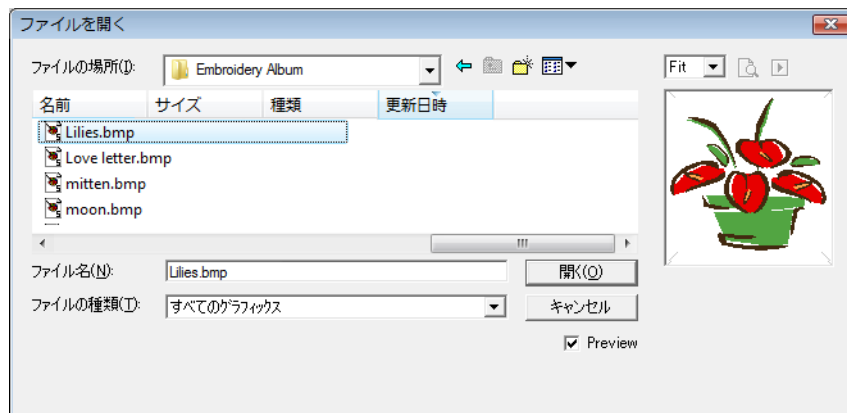
ビットマップイメージを挿入する

デジタイズの下絵に使用するための、様々なフォーマットのビットマップイメージを挿入できます。利用可能なファイルタイプについては、ユーザーマニュアルをご覧ください。

ビットマップイメージを挿入するには

- 1 挿入 > ドローイングファイルを選択します。

ファイルを開くダイアログが表示されます。



- 2 ファイルの場所リストからフォルダを選択します。
- 3 ファイルの種類リストからファイルタイプを選択します（例：BMP）。
- 4 挿入したいファイルを選択します。



参考 選択したファイルのプレビューを表示するには、プレビューチェックボックスを選択します。

- 5 開くをクリックします。



参考 ドローイングがクリップボードにある場合、編集>ドローイングの貼り付け>ベクトルデータ / ビットマップを使用することもできます。

下絵を表示 / 非表示にする



イメージ（標準ツールバー）をクリックし、イメージの表示、非表示を切り替えます。



注意 デジタイズ中に、ビットマップの下絵を表示したり、一時的に非表示にできます。

下絵を表示、非表示にするには

- ◀ イメージを表示するには、イメージアイコンをクリックします。
- ◀ イメージを非表示にするには、再度イメージアイコンをクリックします。

ビットマップイメージを拡大 / 縮小、変形する

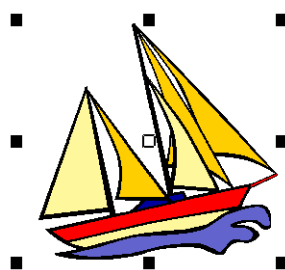
一度 ES クロスステッチに読み込まれたビットマップイメージはサイズの変更や変形が可能です。しかし、イメージのサイズを変更したり、回転する必要がある

場合は、スキャンする時に行うと最良の結果が得られます。後からサイズを変更するとイメージを歪めてしまう場合があります。詳細はユーザーマニュアルをご覧ください。

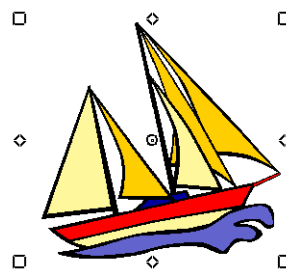
ビットマップイメージを拡大 / 縮小、変形するには

- 1 通常の方法でイメージを挿入します。詳細は[ビットマップイメージを挿入する](#)をご覧ください。
- 2 選択アイコンをクリックします。
- 3 Alt キーを押しながら、イメージをクリックします。

8個のサイズ変更ハンドルがイメージの周りに表示されます。他のオブジェクトで行うように、ハンドルをクリックしてドラッグし、イメージのサイズを変更します。詳細はユーザーマニュアルのオブジェクトのサイズを変更するに関連する章をご覧ください。



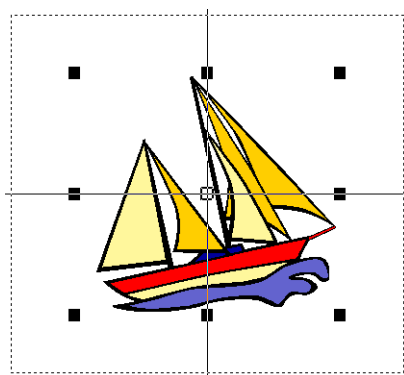
サイズ変更ハンドル



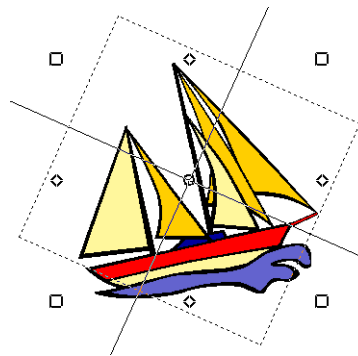
変形ハンドル

- 4 Alt キーを押しながら、イメージをクリックします。

8個の変形ハンドルがイメージの周りに表示されます。他のオブジェクトで行うように、ハンドルをクリックしてドラッグし、イメージを変形します。詳細はユーザーマニュアルのオブジェクトのアレンジと変形に関連する章をご覧ください。



イメージのサイズを変更



イメージを変形

下絵を自動的にデジタイズする



イメージをオートステッチを使用し、イメージから自動的にクロスステッチデザインを作成します。

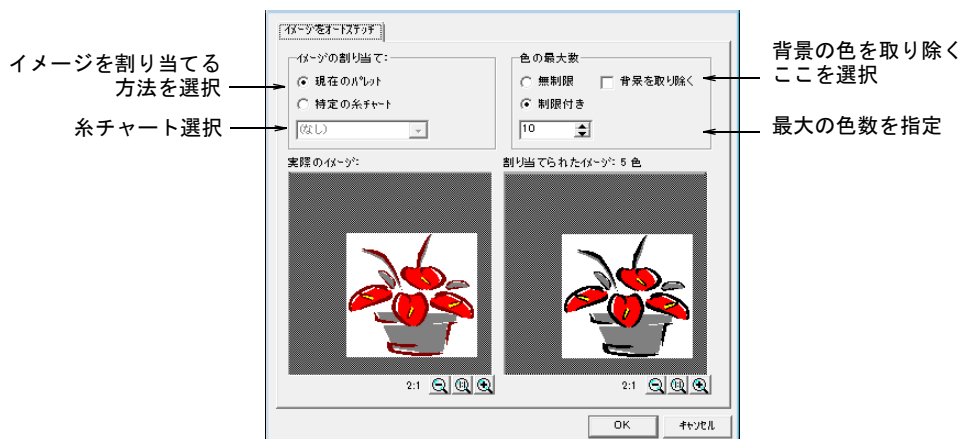
イメージをオートステッチを使用し、下絵のイメージ全体を自動的にデジタイズします。必要に応じて、後からステッチタイプをマニュアルで変更できます。

下絵を自動的にデジタイズするには

- 1 必要に応じてイメージを準備します。
他社のペイントプログラムを使用して、イメージを処理します。
- 2 挿入>ドロ잉ファイルを使用して、イメージを挿入します。詳細は[ビットマップイメージを挿入する](#)をご覧ください。



- 3 イメージをオートステッチアイコンをクリックして、イメージをクリックします。
イメージをオートステッチダイアログが表示されます。



- 4 イメージの色を割り当てる方法を選択します。
◀ 現在のパレット：現在のパレットにある色のみが使用されます。

◀ 系チャート指定：選択した系チャートの色のみが使用されます。



現在のパレット : default



選択した系チャート : Sakura



選択した系チャート : Madeira40-shades

5 使用される最大の色数を指定します。

- ◀ 無制限：系色は最初のダイアログで選択されたパレットの色数に応じて割り当てられます。
- ◀ 色数指定：使用したい色数を入力します。
- ◀ 背景を省く：選択すると背景の色が取り除かれます。

結果がプレビューウィンドウに表示されます。



色数に無制限を選択



色数指定を選択

6 OK をクリックします。

イメージがデジタイズされます。マニュアルでの修正が必要となるかも知れません。



メモ イメージを呼び出さなければ、イメージをオートステッチは使用できません。

クロスステッチの文字をデジタイズする

A レタリング（入カツールバー）を使用し、デザインに文字を追加する。「レタリング」を右クリックし、「フォント」ダイアログを開きます。

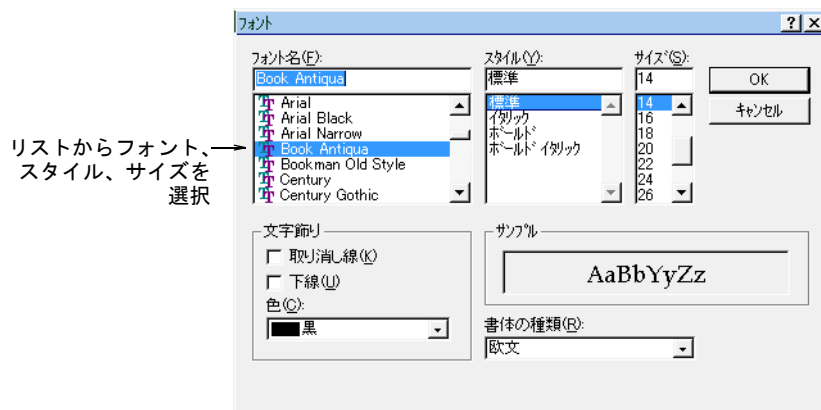
EmbroideryStudio と同様に、ES クロスステッチでも、デザインウィンドウで直接デザインに文字をタイプして追加できます。「フォント」ダイアログを使用して、フォント、サイズ、スタイルを選択します。アウトライン、または埋め込みを選択して、文字をデジタイズします。タイプした文字を編集することはできません。各文字は1つのステッチブロックとして扱われます。



クロスステッチの文字をデジタイズするには

1 レタリングを右クリックします。

フォントダイアログが表示されます。

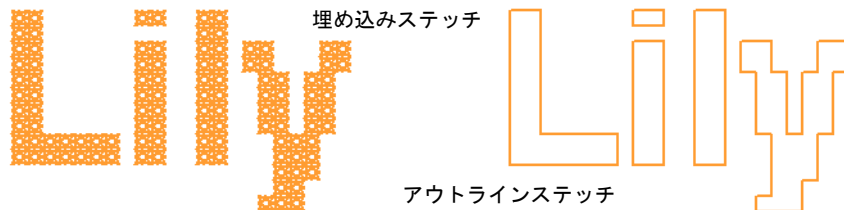


2 フォントタイプ、スタイルとサイズを選択して、OK をクリックします。



3 ステッチツールバーから埋め込み、またはアウトラインステッチタイプを選択します。

4 デザインウィンドウでスタートポイントをクリックし、文字をタイプして Enter を押します。



参考 文字を編集するには、Ctrl キーと共に選択ツールを使用して、必要に応じてステッチタイプや色を変更します。